

地域商店街の熊本地震からの復旧実態に関する調査

○ 熊本大学 学生員 田添智士
 熊本大学 正会員 溝上章志

1. はじめに

平成28年の4月14日と16日の2度に渡る、震度7を記録した熊本地震は、県内全域に甚大な被害をもたらした。この被害は熊本県内の地域商店街にも及び、休業や閉店に追い込まれた店舗も存在した。今後地域商店街が復興に向かっていくにあたり、健軍商店街と子飼商店街の二つの商店街を対象として、地震から一年半が経過した商店街各店舗と商店街利用者の実態と意識の変化を調査・分析する。

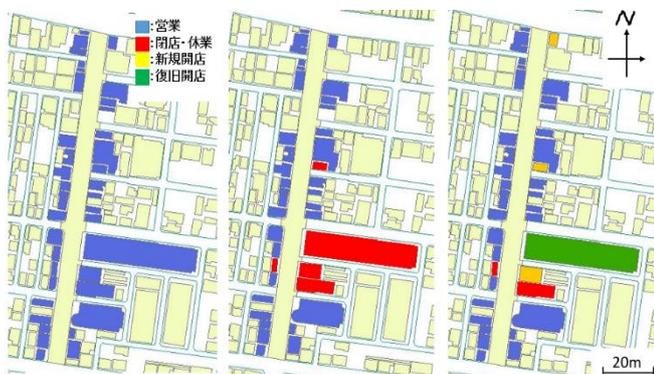
2. 商店街と店主の実態

(1) 店舗の営業状況の変化

図-1に両商店街店舗の地震前、直後、現在の営業状況を示す。両商店街とも地震直後に商店街の中核店舗であるサンリブが全壊し休業したが、現在は復旧開店した。サンリブ以外にも、復旧開店した店舗があるほか新規に開店している店舗が両商店街に2、3軒ずつ存在している。



(a) 子飼商店街



(b) 健軍商店街

図-1 地震前後の営業状況(左から地震前、直後、現在)

(2) 店舗店主へのインタビュー調査

地震から一年半が経過した商店街各店舗の実態を把握するために、商店街各店舗の店主に対するインタビュー調査を実施した。主な調査項目は、店主の性別、年齢といった属性や現在の営業状況、復旧・復興のための今後の課題、後継者の有無等である。対象店舗数は健軍商店街46店舗、子飼商店街63店舗であり、回答を得ることが出来たのはそれぞれ40店舗と54店舗であった。各店舗の店主の年齢は、健軍、子飼共に約6割を60代以上が占めており、店主の高齢化が進んでいる。図-2に地震前と直後、及び直後と現在との売り上げの変化を示す。地震前から直後、直後から現在とも、健軍の方が増加の割合が高い。これは、健軍では約半数の店舗に後継者がいるのに対し、子飼では3割以下であることに依存しているのではないかと考える。

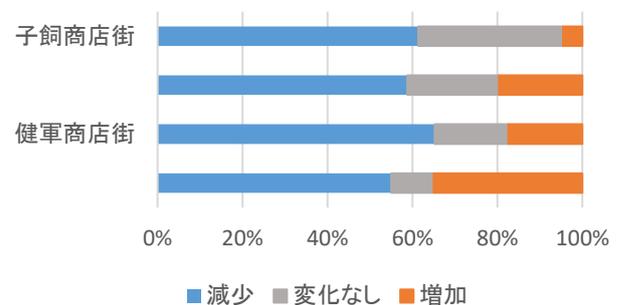


図-2 地震による売り上げの変化

(上が地震前と直後、下が直後と現在との変化を示す)

3. 商店街来街者アンケート調査

商店街の利用実態を把握するために、商店街への来街者からランダムに選出した100人を対象に、性別、年齢、職業等の属性や商店街の利用頻度、利用金額、交通手段等についてアンケート調査を実施した。各商店来街者の職業は両商店街とも無職(主婦)が約5割である。またそれぞれの商店街への来街者の特徴として、子飼では学生が約4割あり、健軍ではパート・アルバイトが約2割あることがあげられる。利用金額は、両商店街とも500円から3000円が約7割を占める結果となった。

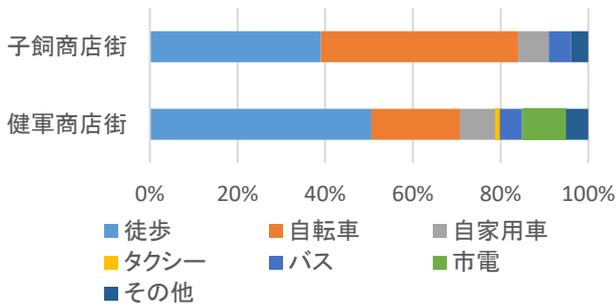


図-3 来街者の交通手段

図-3 に来街者の交通手段を示す。いずれの商店街も徒歩と自転車が約 8 割を占めているが、健軍ではタクシーや市電を用いて来街する人がいる。これは、市電の終点に近い立地条件や、タクシーを利用して商品を配達する「らくらくお買い物システム」が実施されているためと考えられる。

4. 商店街の売り上げの推計

両商店街での売り上げを以下のデータと手順で推計した。まず、商店街来街者アンケート調査の利用頻度(図-4)と利用金額(図-5)のデータを用いて来街者 1 人が 1 日に支出する金額を算出する。これに加え、熊本商工会議所が毎年公表している通行量調査(図-6 参照)、地震前の平日 1 日の通行量を用いて、各商店街の 1 日での総売り上げを推計した。推計結果を表-1 に示す。1 人当たりの支出金額は、健軍商店街の方がかなり大きい。通行量も健軍商店街の方が多いため、商店街全体の総売り上げには子飼商店街と大きな差が出た。商店街来街者アンケート調査より算出した職業別の 1 人当たりの利用金額は、表-2 で示すように学生がかなり低いため、来街者に占める学生の割合が割と高い子飼商店街の総売り上げが低い結果になったと考えられる。

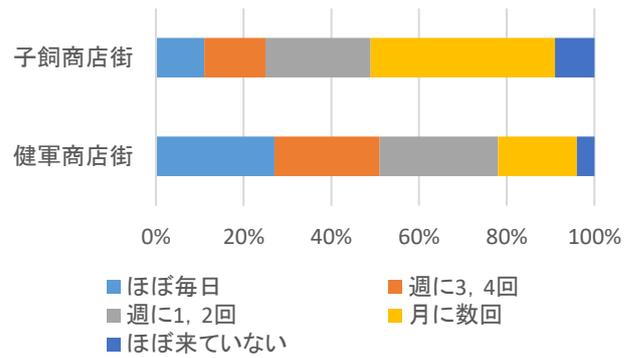


図-4 現在の商店街の利用頻度

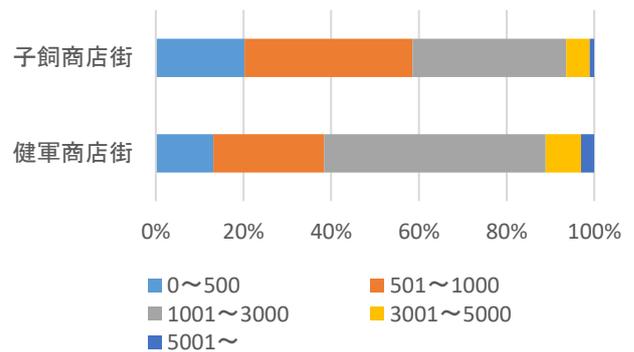


図-5 商店街での 1 日の利用金額

表-1 各商店街売り上げの推計

	利用金額 (円/人・日)	通行量 (人/日)	売り上げ (万円/日)
子飼商店街	396	4,000	158
健軍商店街	983	6,000	589

表-2 職業別利用金額

	健軍商店街	子飼商店街
経営者	3,800	500
会社員・公務員	1,623	232
パート・アルバイト	1,126	707
学生	223	183
無職(主婦)	920	569

5. おわりに

今後は、地震前と直後のデータから地震による売り上げの推移を算出することや、両商店街商圏の人口推移を示すデータを用いた将来の売り上げの予測等も行う予定である。

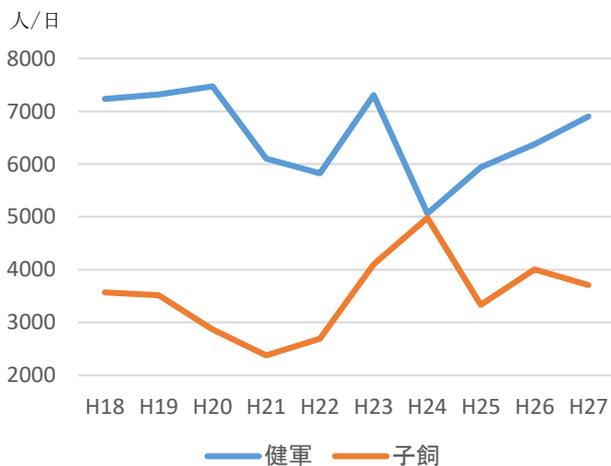


図-6 商店街通行量の推移